本社ガスビルサービスセンター、支社所在地および電話番号

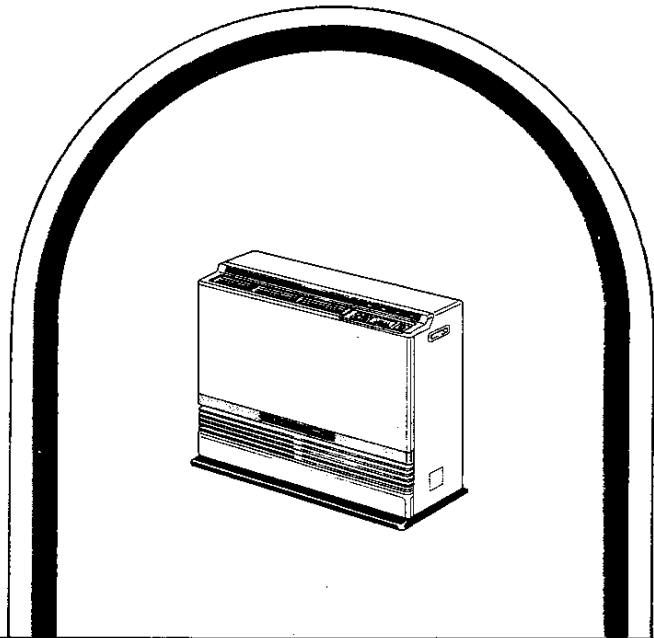
本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06(202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06(652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06(301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市[illegible]の里39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市[illegible]屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29－1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 0749(62)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

8505A㊥R
588H53442

ガスファンヒーター
取扱説明書 43-734・735型

保証書付

ガス器具をお使いになるときのご注意

ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと

ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとコックも
閉める習慣を

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

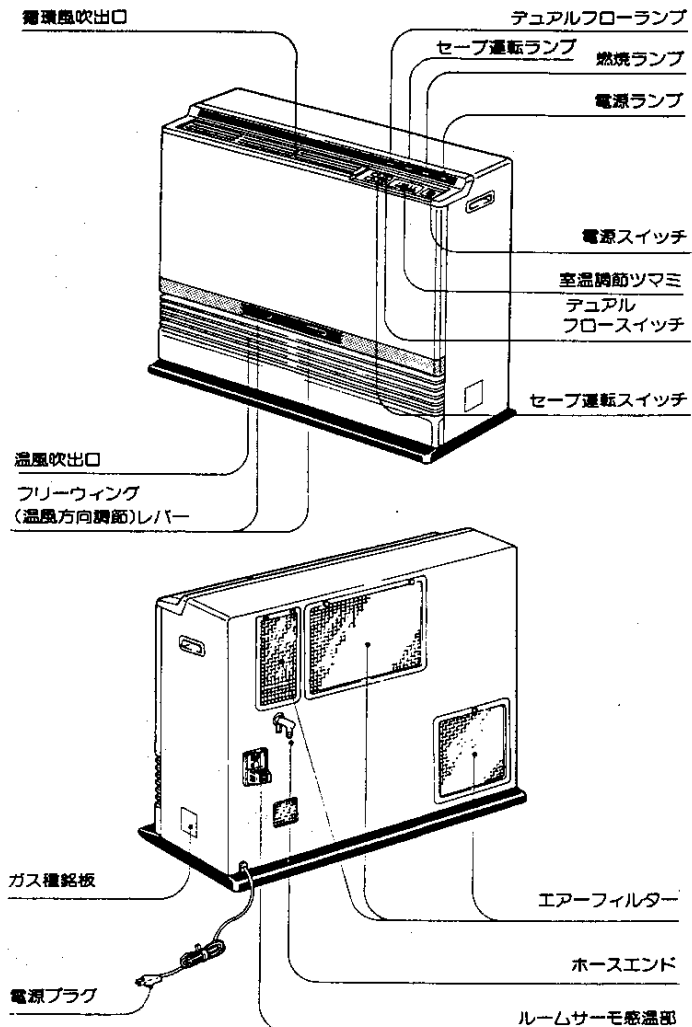
このたびは大阪ガスのガスファンヒーターをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

もくじ

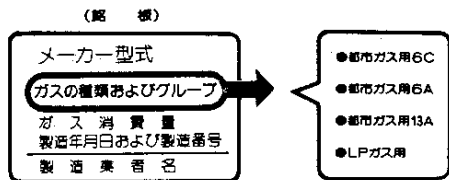
換気にご注意

この器具は、強制給排気式(ＦＦ式)ではありませんので換気が必要です。

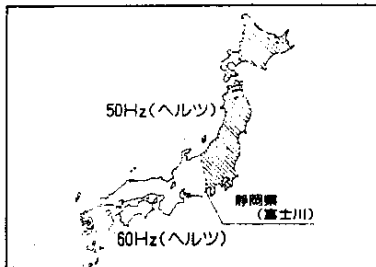
各部の名称

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

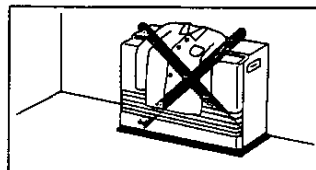
使用ガスについてのご注意

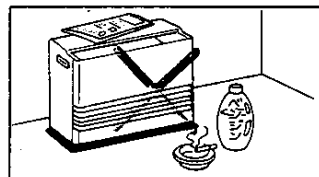
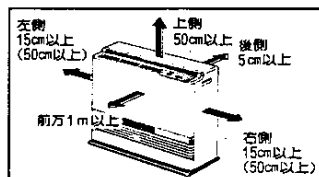
- **ガスの種類を確かめてください。**
- ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

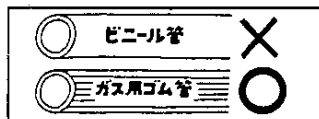
使用電源についてのご注意

- **電源の電圧と周波数を確かめてください。**
- この器具はAC100V、60Hz用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているか確かめてください。
- 電源周波数が異なる地域へ転宅される場合は、改造の必要があります。この場合、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

特に注意していただきたいこと②

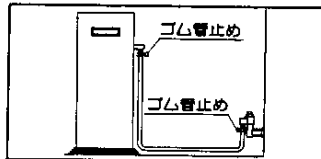
用途についてのご注意

- 直接衣類などの乾燥用として使用しますと、器具内部に熱がこもり大変危険です。使用しないでください。

使用場所についてのご注意

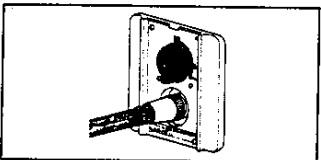
- 理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などでのご使用はお避けください。器具の故障の原因になります。
- **燃えやすいもの・危険物のそばなどで使用しないでください。**
床面の不安定な場所では使用しないでください。
- **右図の空間寸法がとれる場所でご使用ください。**
この空間がないと暖房効果がいちじるしく低下したり回りのものが変質したり、場合によっては火災の原因となります。
- 右側・左側のうち少なくともどちらか一方は50cm以上あけてください。

ガスもれ予防

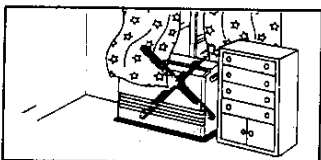
- **ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。**
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。

特に注意していただきたいこと③

●ゴム管はキズのない新しいゴム管を使用して、両端をゴム管止めでしっかりと固定してください。

ゴム管止め
ゴム管止め

●ガスもれに気づいたときは、すぐに使用を中止しガス元せんを閉じ、窓や戸を全部開けてガスを外へ出してから、最寄りの大阪ガス支社にご連絡ください。

●ご使用になるときは、部屋のガス元せんを必ず全開にしてください。

●器具をご使用にならないときや、外出前また、おやすみ前には万一の事故がないよう必ず部屋のガス元せんを閉めてください。

火災予防

●器具の上やそばに、燃えやすいもの(紙カーテン・家具・揮発油など)を絶対に置いたり、近づけたりしないようにしてください。

●紙・布・異物などを、循環風吹出口や温風吹出口に入れたりエアーフィルターをふさいだりしないようにしてください。

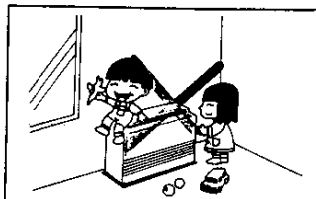
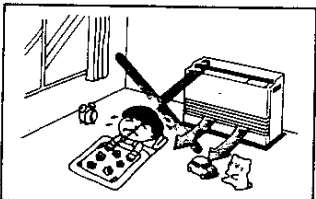
●器具の近くでヘアスプレー・殺虫剤などを使用したり、器具にかけたりしないでください。
引火や爆発のおそれがあります。

●外出・就寝時には、必ず消火してください。

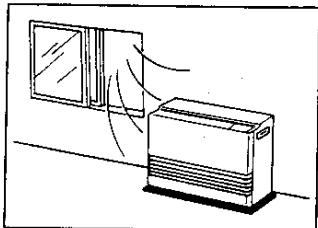
●持ち運びのときは、必ず消火し、器具が冷えてから行なってください。

特に注意していただきたいこと④

やけどのご注意

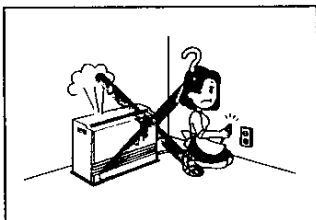
●器具の上にこしかけたり乗ったりしないでください。
「やけど」や器具の変形の原因になります。

●温風を長時間、直接からだに当てないようにしてください。
低い温度でも長時間当たりますと、「やけど」をすることがあります。
特に体力のない病気のかた・乳幼児・お子さま・お年寄りには回りのかたが充分注意してあげてください。

●使用中、及び使用直後は、温風吹出口は高温になっていますので、触れると「やけど」の危険があります。特に小さなお子さまが器具に触れることのないように、回りのかたが充分注意してあげてください。

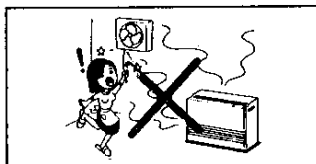
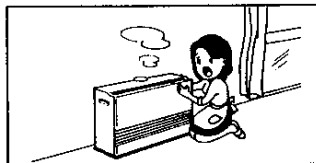
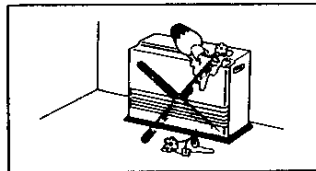
換気のご注意

●使用中は、30分に、1回1分程度換気扇を回すか、窓をあけるなどして、充分な換気を行なってください。
閉め切った部屋で長時間使用しますと室内の酸素濃度が下がり、不完全燃焼の原因となります。
気密性の良いアルミサッシなどの窓のときは、特に換気に注意してください。

●部屋の換気口は、つねに確保し物などでふさがないでください。

●この器具は換気が不充分ですと自動的に燃焼を停止します。この場合、換気扇を回すか窓を開けるなどして換気を行なってください。

消火のご注意

- 消火は電源スイッチで行なってください。
  電源プラグを抜いての消火または、消火後すぐに電源プラグを抜くことは、絶対に行なわないでください。(本体が過熱します。)
- 使用後は、必ず部屋のガス元せんを閉めてください。

異常時の処置

- ガスがもれていたときは、換気扇の使用、電源スイッチの「入・切」など、また、マッチやライターの使用は絶対におさけください。火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

- 万一、異常燃焼を起こしたときや、緊急の場合は、あわてずに電源スイッチを「切」の位置にもどし、部屋のガス元せんを閉めてお買上げの販売店または大阪ガス支社に連絡してください。
- 万一、器具に水をこぼして内部をぬらした場合は、運転を停止し電源プラグを抜いて、お買上げの販売店へご相談ください。
  ぬれたまま運転すると、漏電・火災などの原因となることがあります。

- 雷時は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 停電になった場合は、電源スイッチを「切」にし、部屋のガス元せんを閉めてください。
  通電後は部屋のガス元せんを開け、再度点火操作を行なってください。

次の場合は異常ではありません。

- 初めて運転するとき、なかなか着火しない。

⬇

ガス配管の中に空気が入っているためで、点火操作を繰り返してください。

- 着火時「ニオイ」がする。

ガス配管の中に空気が入っている時や外気条件(厳寒時)によって起こることがあります。

- 着火したとき「ポッ」と音がする。

室温条件(厳寒時)によって起こることがあります。

- 着火、及び消火のとき「チリチリ」と金属音がする。

⬇

金属の膨張・収縮によるきしみ音です。

- 室温調節をするとき「カチン」と音がする。

⬇

ファンの回転数を切りかえるときのリレー作動音です。

- 消火しても温風が出てくる。

⬇

器具内部を冷却するためで約1分30秒後に自動的に止まります。

- 運転中に温風吹出口から、内部が赤味をおびて見える。

⬇

炎が反射して見えるためで異常ではありません。

- 点火時、燃焼ランプが点灯せず火が消える。

⬇

エアーフィルターが汚れている場合に起こることがあります。エアーフィルターを清掃してください。

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。点検、手入れの方法については、17～18ページをお読みください。

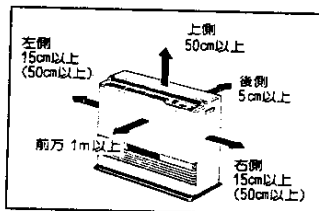
器具の設置

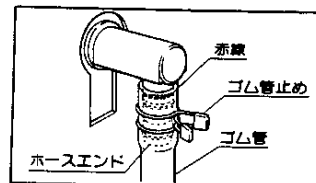
設置前の準備と確認

- 器具の設置場所の近くに部屋のガス元せんがない場合は、お買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社へご相談ください。
- **梱包材(外装箱・保護材)を取除いてください。**
  梱包材は、シーズンオフに器具の保管用として使用できますので、保管しておいてください。
- 使用ガス・使用電源は器具銘板の表示と一致しているかご確認ください。

設置上のご注意

- 周囲に可燃物・危険物がない場所でお使いください。また必要な距離は必ずあけてください。
- 右側・左側のうち少なくともどちらか一方は必ず50cm以上あけてください。
- 前方に障害物があったりすると温風がすぐ器具内にもどり、室温調節ができなくなることがあります。

- **床面の不安定な場所には設置しないでください。**
  特に前に傾けて設置されますと温風によりジュータンなどが変色・変質することがあります。
- 毛足の長いジュータンの上で使用される場合は、じょうぶで水平な台の上に乗せて使用してください。

ゴム管の接続

- **ゴム管は規定のガス用ゴム管を使用し、ゴム管接続部はホースエンドの赤線まで差込みゴム管止めでしっかりと固定してください。**

- **ガス用ゴム管は折れたり、ねじれたりしないようできるだけ短かくし（3m以内)、また器具に触れないようにしてください。**
  器具に触れているとゴム管が過熱して、ゴム管の寿命が短かくなり危険です。
- **ガス用ゴム管の継ぎたしや、二また分岐は、ガスもれなどの危険がありますので行なわないでください。**
- **ガス用ゴム管のお取り替えの目安は約3年です。**
  ガス用ゴム管が古くなりますと、部屋のガス元せんや器具せんから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガスもれの原因になることがあり危険ですのでご注意ください。
- **ガスコード(強化型小口径ガスホース)は、13A器具のみ使用可能です。**

使　用　手　順

はじめてお使いのとき

●初めて運転されるとき、またはガス用ゴム管を取換えられたときは、配管中に空気が入っているため１～２回の操作では着火しないことがあります。このときは点火操作を繰り返してください。

●初めて運転されたとき、温風吹出口から煙や臭いが出ることがあります。これは燃焼器に付着した油などが焼けるためで、まもなくなくなりますので部屋の換気をしながらご使用ください。

点火前の準備と確認

●電源プラグをコンセントに差込んでください。

〈ご注意〉

●電源スイッチが「切」になっているのを確認してください。

●電源プラグは交流100Vに差込んでください。

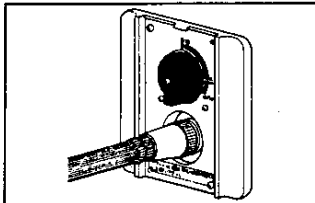
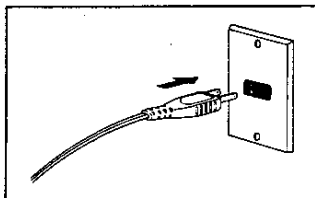
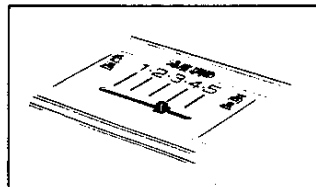
●部屋のガス元せんを開けてください。

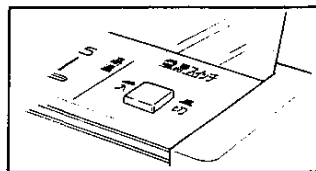
〈ご注意〉

●必ず全開にしてください。

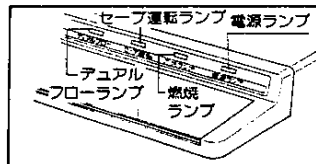
●部屋のガス元せんで火力調節は行なわないでください。
不完全燃焼の原因となり危険です。

使用手順②

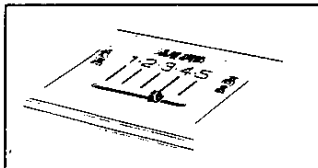
点　　火

●室温調節ツマミをお好みの位置に合わせます。

●電源スイッチを「入」にします。
電源ランプが点灯し、自動的に放電が開始され点火します。（放電音がします）

●点火後も燃焼ランプが点灯（約40秒）するまで、放電状態がつづきます。

●部屋の温度条件などによっては、約１分すぎても燃焼ランプが点灯しない場合があります。この場合は、いったん放電状態が止まり（約４秒間）、更に、自動的に前項と同様な点火操作が繰り返されます。

〈ご注意〉

●使用中に停電したときは、電源スイッチを「切」の位置にもどしてください。
なお、再点火時に「ポッ」と音がすることがありますが、異常ではありません。

室 温 調 節

- 室温調節ツマミで、お好みの温度に調節してください。(無段階にどの位置でもセットできます。)
- 室温調節器(ルームサーモ)の働きにより、「比例燃焼」・「消火」を繰り返し室温を設定温度に保ちます。

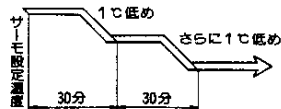
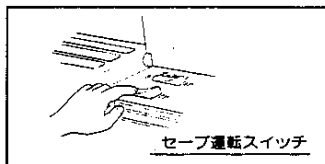
〈ご注意〉

- 室温調節ツマミの設定温度は、ルームサーモ感温部の温度ですので、家屋の構造・使用場所・外気温度などによって、必ずしも部屋の温度とは一致しません。あくまでもめやすと考えてください。

室温調節ツマミの目盛りと室温のめやす

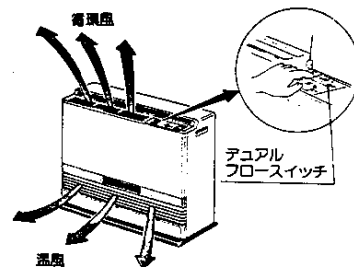
目盛り	室温のめやす
1	約8℃くらい
3	約23℃くらい
5	約38℃くらい

セーブ運転

「セーブ運転スイッチ」をセットしておきますと、

- お部屋の温度が設定温度に到達後、30分たつとサーモ設定温度を自動的に1℃低めにコントロールします。

- さらに30分たつと設定温度をさらに1℃低くします。
サーモ設定温度を2℃低めにコントロールして維持費の低下をはかります。

デュアルフロー運転

暖房中デュアルフロースイッチを押しますと表示部のデュアルフローランプが点灯し、循環風吹出口より循環風が吹出します。

- デュアルフロー運転されますと循環風が温風の上昇をおさえこみ温度分布がより快適に保たれます。

温風方向調節(フリーウィング機能)

温風方向調節レバーを調節することにより、温風方向を「ワイド温風」・「正面温風」、または「左サイド温風」・「右サイド温風」に変更することができます。
調節レバーの位置は下表を参照してください。

温風の種類	温風方向調節レバー位置	温 風 方 向
ワイド温風	FREE WING 調節レバー 調節レバー	
正 面 温 風	FREE WING 調節レバー 調節レバー	
左サイド温風	FREE WING 調節レバー 調節レバー	
右サイド温風	FREE WING 調節レバー 調節レバー	

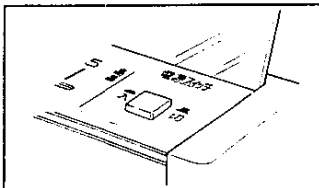
〈ご注意〉

- 温風吹出口は熱いところがありますので、暖房中に温風方向の調節をされる場合はご注意ください。

消　　火

● 電源スイッチを「切」の位置にもどしてください。
ガスが止まり消火しますが温風はしばらく出て器具を冷却し約１分30秒後停止します。

● 部屋のガス元せんを閉めてください。

〈ご注意〉

● 消火は電源スイッチで行なってください。
電源プラグを抜いて消火すると、器具が異常に過熱し器具の寿命を縮めますので、絶対に行なわないでください。

● 消火後再び運転される場合は、温風が出ていないことを確認してから点火操作を行なってください。温風が出ている間(約１分30秒)は点火操作をしても着火しません。

● 使用中誤って電源プラグを抜いて消火してしまった場合は、電源スイッチを操作し直してもすぐには運転できません。約30秒後に運転が再開されます。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中に自動的に運転が止まってしまったときは、次の方法ならびに19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

1．不完全燃焼防止装置
使用中に万一、バーナーが不完全燃焼するような状態になった場合、不完全燃焼防止装置が作動しガスをしゃ断し、燃焼を停止します。

● 部屋の換気を充分に行ない、器具の周囲の障害物を取除いた後、温風が出ていないことを確認してから再度点火操作を行なってください。

● 換気を行なってもたびたび、不完全燃焼防止装置が作動する場合はお買上げの販売店にお申付けください。

2．消火センサー
ガス圧が低いときやガスの流れが一時的にしゃ断されたとき、また他の安全装置が働いて燃焼を停止したとき、バーナーへのガス通路を閉じ、生ガス流出による事故を防止する装置です。

● 原因をお確かめのうえ、再点火してください。

3．過熱防止装置(ハイリミットスイッチ)
エアーフィルターの目づまりや温風吹出口に障害物があり、器具内部が過熱しかけた場合には、過熱防止装置(ハイリミットスイッチ)が作動して燃焼を停止します。(器具が冷えれば再運転ができます。)

● エアーフィルターのお手入れ(17ページ参照)または障害物を取除いてください。

4．逆火安全装置
使用中、なんらかの原因で逆火したときに逆火安全装置が作動し運転を停止します。

● お買上げの販売店にお申付けください。

5．転倒時ガスしゃ断装置
転倒したり、本体をゆすると転倒時ガスしゃ断装置が働いて燃焼を停止します。もう一度点火操作を行なってください。

6．過電流保護装置(電流ヒューズ)
使用中なんらかの原因で過電流が流れたとき、電流ヒューズが溶断し運転を停止します。

● お買上げの販売店へお申付けください。

7．停電時安全装置
燃焼中に停電(瞬時停電も含む)になりますと安全装置が作動し運転を停止します。

● 停電時は使用できません。

● 再び通電しても自動的に運転しませんので、点火操作を行なってください。

日常の点検・手入れ

長い間お使いいただくためには、お使いになるみなさまの日ごろの点検・手入れが必要です。次の点検・手入れはぜひ守って実行してください。

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れは、器具を充分に冷やして必ず電源プラグをコンセントより抜いて行なってください。
- 点検・手入れについては、下記の日常の点検・手入れ以外はお買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。
- 安全装置・ファン・燃焼器・電気部品・ガスの通路部分の分解はしないでください。

点　　検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで充分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなったり、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスがもれていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

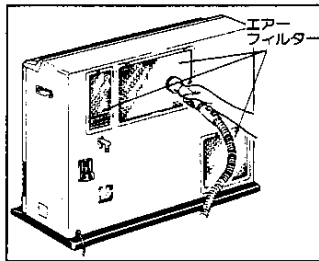
お手入れ

一週間に一回以上

エアーフィルターの目づまりは、温風量を低下させ、場合によっては過熱・変色の原因となり、器具の寿命を縮めることにもなります。

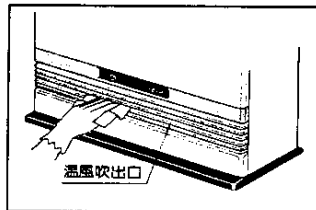
- 器具背面のエアーフィルターのホコリを掃除機でよく清掃してください。
- エアーフィルターはビス固定ですので取外しができます。よごれがひどい時はぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。

日常の点検・手入れ②

ときどき

器具外装のお手入れはあまり汚れのひどくならないうちに行なってください。

やわらかい布をぬるま湯にひたし、よくしぼってからふいてください。

- **揮発性の溶剤**(ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など)、**スプレー、化学ぞうきん、みがき砂**などを使用しますと、色があせたり、つやがなくなることがあります。

- 温風吹出口を強くふきますと、吹出口のルーバが曲がり、温風によってジュータンなどを焦すことがありますのでご注意ください。

温風吹出口

- 温風吹出口に白い粉が付着することがありますが異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。

故障・異常の見分け方と処置方法

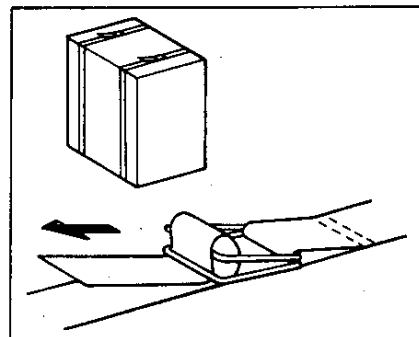
ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して充分な点検をお願いします。

現象＼原因	電源ランプが点灯しない	ファンが回転しない・放電しない	燃焼ランプが点灯しない	燃焼がいつのまにか止まった	異臭がする	ガスのにおいがする	部屋がこげくさい	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
停電中では	○	○	○	○					他の電気器具で確認してください	
電源プラグが抜けている	○	○	○	○					電源プラグをコンセントに差込んでください	
ガスの元せんが閉っている			○	○					全開にしてください	
ガスの元せんの開き不足			○	○	○			○	全開にしてください	
ゴム管の中に空気が残っている			○		○				点火操作を数回繰り返してください	11 12
ゴム管が折れている			○	○	○			○	ゴム管の折れをなおしてください	
ゴム管のひび割れ・穴あき						○			新しいゴム管とお取り替えください。	
ガスの種類がちがっている			○		○			○	ガスの種類が合っていなかったら、お買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にお申し付けください。	3
エアーフィルターが汚れている			○	○				○	エアーフィルターを清掃してください	17
点火装置の故障		○							お買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にお申し付けください。	
ファンの故障		○							お買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にお申し付けください。	
器具内にほこりがつまっている				○	○		○		お買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にお申し付けください	
ガス圧力が低下している				○	○			○	他のガス器具を止めて、もう一度点火操作を行なってください	12
標準適室を満足していない								○	標準適室を満足していない場合は、お買上げの販売店または、最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。	23
温風吹出口がふさがれていたり、前方に障害物がある				○				○	取除いてください	9
部屋の空気中の酸素が異常に少なくなった				○					換気を充分行なってください	6

以上の方法で点検し処置しても直らないとき、または点検しても心配なときはお買上げの販売店または、最寄りの「大阪ガス支社」へご相談ください。

長期間使用しない場合

暖房シーズンが終わって、次のシーズンまで器具を保管して置く場合、次のような点検・手入れを行なってください。

- **電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- **部屋のガス元せんを閉じ、部屋のガス元せんと器具のホースエンドからガス用ゴム管を外してください。**
  ガス用ゴム管を外した部屋のガス元せんには、必ずゴムキャップを取付けてください。器具のホースエンドにもゴムキャップなどを取付け、内部にホコリの入らないよう処置してください。
- **エアーフィルターのゴミやホコリはきれいに清掃してください。**
- **各部のよごれをふき取り、外装箱に入れ湿気の少ないところに保管してください。**
  なお、梱包の際は付属の樹脂バンドを下記の要領で使用してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店、もしくはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……(ガスファンヒーター)
(2) 品　番……左側面に貼付してあります。

(例)

(N)43-734(U)
大阪ガス株式会社 09

(3) 現　象……(できるだけ詳しく)
(4) 道　順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- **ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。**

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

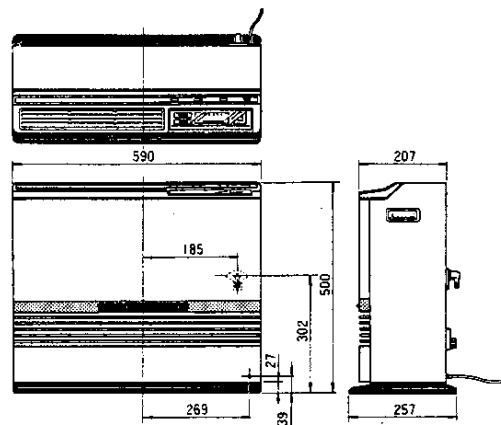
保証書について

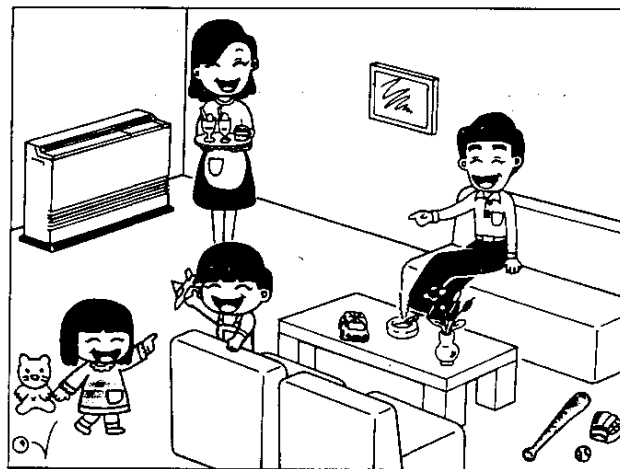
- **この器具には保証書がついています。**

このガスファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　　長

1. 器具せんは、操作の容易なプッシュボタン式。
2. 比例制御弁の働きによって室温の変動がほとんどありません。したがって快適性、経済性が向上します。
3. デュアルフロー運転により本体上側より循環風が吹き出し天井付近の暖めすぎを防止し、より快適な暖房が得られます。
4. セーブ運転システムの導入により、更に維持費の低下がはかれます。
5. 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。
6. 温風方向調節レバーにより、温風方向が「ワイド温風」・「正面温風」・「左サイド温風」・「右サイド温風」に変えられる「フリーウイングタイプ」です。

寸法図と仕様一覧表

項目 ＼ 種別	43-734型	43-735型
ガス消費量 都市ガス 6C	2200kcal/h	3000kcal/h
ガス消費量 都市ガス 13A	2200kcal/h	3000kcal/h
ガス消費量 都市ガス 6A	2200kcal/h	3000kcal/h
ガス消費量 LPガス	0.18kg/h	0.24kg/h
外形寸法（mm）	高さ500×幅590×奥行207（ベース257）	
重量(kg)	16	
接続 ガス	φ9.5ガス用ゴム管	
接続 電気	AC100V 60Hz	
最大消費電力	最大 60	最大 62
電源コードの長さ(m)	2	
給排気方式	室内開放式	
燃焼方式	全一次表面燃焼式	
暖房方式	強制対流式	
点火方式	連続放電点火方式	
標準適室	6～9畳	8～12畳
安全装置	不完全燃焼防止装置、消火センサー、過熱防止装置（ハイリミットスイッチ）、逆火安全装置、過電流保護装置、停電時安全装置、転倒時ガスしゃ断装置	

本製品と快適なくらしのために

じょうずな暖房でゆとりあるくらしを！

家族があつまる居間、家族それぞれの部屋にじょうずに使いこなし快適な環境づくりにお役立てください。
パパも坊やものびのびと、笑い声がはずむ楽しい夕べ。
家族みんながイキイキすればそこに明るい対話が生れます。
暖かな部屋はみんなの気持にゆとりをもたせます。
じょうずな暖房でくらしの幅を大きくひろげてください。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開してから（火気に注意して）大阪ガス支社にご連絡ください。